

松戸里やま応援団 「甚左衛門の森の会」

(活動場所：千葉県松戸市)

活動タイプ

里山	竹林	資源	機能
●	●		

活動の経緯

「甚左衛門の森の会」は、松戸市の残存森林の維持保全を目的として、平成 15 年に結成された「松戸里やま応援団」の 1 グループとして、平成 29 年に発足しました。活動地は、千葉県松戸市の高塚新田地区の一面 0.9ha で、針葉樹と落葉・常緑広葉樹の混交林で、一部マダケ林を交えた変化のある森です。この場所は、主要道路に面し、周囲に畑や民家が点在しています。景観保全、枯損木・風倒木の管理などの観点からも整備が必要と考え、松戸市や地権者とも協議をして、活動を進めていくことにしました。

※ 「松戸里やま応援団」では、市内 10 数か所の森でこうしたグループが活動を展開しており、ボランティア会員はおよそ 200 名にのぼります。

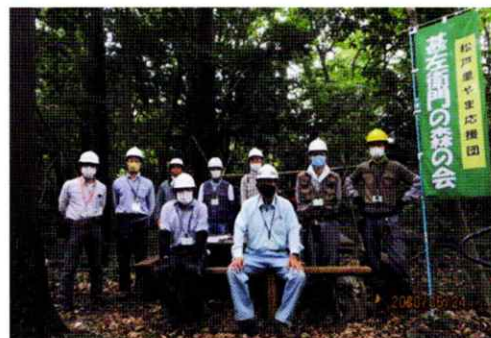
活動の内容

活動前は樹木が密生し雑草木も繁茂して、立枯れ木、倒木も目立ち、不法投棄のゴミが散乱していました。毎月第 2、第 4 水曜日の午前中を定例活動日と定め、雑草木・竹藪の刈払い、密生した立木の間伐、立枯れ木・倒木の除去、観察・作業道の整備などを行っています。現在は令和元年の台風被害からの復旧作業を主体とした活動を行っています。

特徴的な取組

「甚左衛門の森の会」の母体である「松戸里やま応援団」は、松戸市が都市部の貴重な緑を保全することを目指して設立した「松戸市緑推進委員会」の発案で始まった「里やまボランティア入門講座」の受講生によって組織されました。

森林の保全活動は、「松戸ふるさとの森の会（森林地



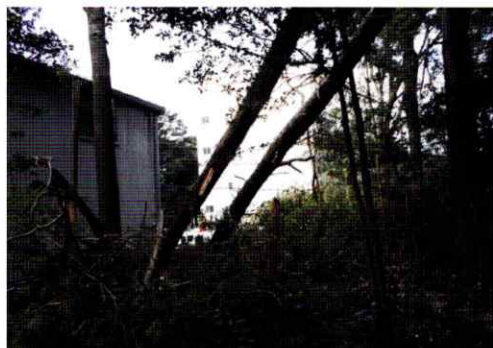
主な活動メンバー



活動地の入口



作業前のミーティング



活動地内の倒木の様子

権者の会)」の協力を得て「松戸里やま応援団」が行っています。

当会も参画する、この「松戸里やま応援団」では、毎年4月～5月に開催されるイベント「オープンフォレスト in 松戸」でボランティア活動を松戸市民にアピールし、新たな会員の増加に努めています。

活動の成果

林床に繁茂したアオキやヤツデなどの刈払い、密生していた樹木の間伐や除伐を行い、林内に日光が差し込むようになりました。また、除伐・間伐・下刈りなどの結果、ギンランなどの希少植物の生育も確認されるようになっていきます。

立枯れ木や倒木の処理を続けていたところ、昨年の台風により甚大な被害を受け、目下その復旧作業に取り組んでいます。

千葉県里山林保全整備推進地域協議会主催の「チェーンソーによる伐採作業及び安全作業の研修会」も当森を会場に開催されました。専門講師の指導のもと、参加者がチェーンソー使用の安全研修を兼ねて、サワラなどの大径木の伐採技術を習得しました。

今後の活動

台風被害からの復旧作業や森の整備を進め、植物や小動物の豊かな生息地としての里山を復活し、近隣住民や子どもたちが身近な自然を気軽に楽しめる森をつくり、地域の活性化を図りたいと思っています。また、生涯大学、地域活躍塾などの受講生を積極的に受け入れ、里やま体験の場を提供し、市民のボランティア活動への参加の動機づけの機会となればと考えています。



倒木処理作業の様子



台風被害木の処理作業風景



掲示板の設置作業



オープンフォレストの様子

【問い合わせ先】 松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

電話番号 047-342-6261 (村井)

メールアドレス muraiyukio0727@tb3.so-net.ne.jp